

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス夢未来宝塚				公表日	R8年 2月 5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	6	階段が急なので静かに上り下りするように声を掛けています。また、学習スペースも全員が重なるので狭くなるので重ならないようにSST などを入れて人数調整をしています。	部屋や2階に上がる階段が狭い。建物の構造については変更はできませんが、人数が重なりパーソナルスペースが保てなさそうなときは近くの通信高校に行き学習と活動を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	こどもの体調や状況を入室時に特に気にかけています。	日によって、配慮が必要な場面が見られますのでスタッフ同士のコミュニケーションを取り対応していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	6	こどもの下校時間が違うため、学習時間がバラバラになるため、自分でスケジュールを立てて行動できるように支援しています。	1階と2階に分かれているので目が届かない時が無いよう常に職員同士で声を掛け合う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	4	毎日、掃除や必要に応じて消毒を行っています。また、温度も日々調節しています。	狭い空間でも静かに学習する環境を整える。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	5	必要に応じて、個別の部屋を使用する場合があります。	隣の部屋の声が聞こえるときがあるので個別で話を聞く時は静かな環境を作ることに心がけていきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	職員が常にこどもの事を考え、その日の反省と次の目標を話し合い支援に心がけています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者の貴重な意見を参考に業務改善へとつなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員間で毎日MTGを設け意見交換しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	現在、第三者による外部評価を行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	研修や受講する機会を案内しています。	受講者が受講内容を話す機会をもち全職員に周知できる機会をもっていく。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	支援プログラムはHPで公開されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		職員間でモニタリングを行い、それを保護者様に確認してもらいお子様や保護者様の希望を書いてもらっています。また、懇談時に家庭の様子などを聞いて作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		お子様の発達状況を考えながら児童発達支援管理責任者を中心に職員間で作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		職員間で共有され、終礼時に毎日確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		職員間で確認し合いながらフォーマルなアセスメントに心がけています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	社会性をはぐむために本人や家族の意見を尊重しながら、そのお子様に合った支援を設定しています。	

り な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	常勤職員中心に行っています。	立案が難しいので、月や週ごとに考えていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	新しい意見を取り入れながら工夫しています。	工夫はしているが難しいと感じるときがあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	適宜、個別と集団を組み合わせで行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	朝礼時に確認しながら行っています。	詳しく説明してない時があったと反省しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	終礼時に確認し共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	議事録や業務日報などに記録を取り、支援の検証・改善につなげています。	その日に休んだ職員については出勤時に必要なことは口頭で伝えるようにしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	職員間で定期的にモニタリングを行い、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	「4つの基本活動」を組み合わせ支援を行っています。	5領域に意識が向いていたので今後は目を向けていきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	自分でスケジュールを立てるときに、何をするかを自己選択できるようにしています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	よく理解した職員が参加しています。	常勤職員が担当することが多く、他の職員には報告内容を会議録を見てもらいながら説明していきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	主に教育等の関係機関と連携を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校送迎時や電話連絡・学校訪問などを行い、学校との情報共有は適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		保護者の要望があり状況に合わせて行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4		まだ、学校を卒業されるお子様がいません。これから必要に時期がくれば適宜対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		今度検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		特に行っていません。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		必要があれば参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	毎回、日報でその日の様子を伝え懇談するなどして共有理解しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		必要に応じて行ってまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時にご説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	懇談時などの機会があるごとに話しています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	保護者様にご説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	必要に応じて行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	6		今後開催予定です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情があれば迅速に対応していきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	お子様や保護者様に行事の連絡等は様々なツールを使って発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	帰宅時は金庫や鍵付き書庫に移動し取り扱いには十分注意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	各々、配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	現在は招待ではなく、参加しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	必要に応じて行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	必要に応じて行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	お子様の状況は確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3		指示書はありませんが保護者様と確認しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	適宜、必要に応じて行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	1年間の安全計画の計画書を作成し配布しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	毎日、ヒヤリハットを確認し共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修の機会を設け対応しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束を必要とするお子様はいませんが、必要な場合は支援計画に記載していきます。		